

# 令和7年度 第1回 さくら市地域公共交通会議 議事録要旨

令和7年6月12日（木）

さくら市役所総合政策部総合政策課

1 日 時 令和7年6月12日（木）13:20～14:20

2 場 所 市役所第1会議室

3 会 議 名 令和7年度第1回さくら市地域公共交通会議

4 結 果 概 要

令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について → 承認

さくら市AI デマンド交通システムの運行状況について → 承認

さくら市地域公共交通計画の進捗状況 → 承認

# 議事録

「・会長 →委員 ⇒事務局」を表す。

## ■会長あいさつ

地域において重要性が日に日に増している公共交通について議論するため、ご意見いただきたい。

## ■議事①令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

過去6年度のデマンド交通の実績※バス年度（10-9月）での実績

- ・登録者数は増加傾向
- ・利用者数は増加傾向
- ・満足度は下降傾向 AI デマンド交通移行後の調査結果に期待したい
- ・収支率、公費負担の改善が難しい（物価高騰・AI システム導入後の費用増加）

地域内フィーダー系統確保維持計画については、国庫補助金の交付を受けるため、別添資料のとおり策定し、国へ提出したい。提出後、軽微な修正を求められた場合には事務局に一任いただきたい。

### 【質疑】

- ・デマンド交通の満足度について市HPで公表されているのを見た。

満足している、もしくは満足していないという意見について、その理由を把握しているのか。理由を把握することがサービスの改善につながると思われる。

⇒満足している方の意見では「こういったサービスを運行してくれてありがたい」といったものがあり、満足していないという方の意見では「時間通りに到着できない、便の数を多くしてほしい」といった声が多い。

- ・収支率や公費負担額の計算に使用する「経費」はどのようなものがあるのか。

⇒運行をタクシー事業者に委託しているため、その委託費である。内訳としては人件費、燃料費、車両費などがある。

### 【採決】

- ・異議なし。軽微な変更は事務局に一任する。

## ■議事②さくら市AIデマンド交通システムの運行状況について

AI システムを導入しての運行は令和 7 年 2 月 3 日から実施。

- ・利用者は増加傾向
- ・予約問合せに対し約 70%が成立
- ・予約は 9 時～11 時が最も多く、午後になるにしたがって減少傾向
- ・自宅とスーパーマーケットへの往復利用が最多
- ・収支率・公費負担額は AI システムやコールセンター費用の増加のため前年同月比で大幅増加

### 【質疑】

- ・すばらしい事業だと思う。本日は新しく委員となった方も多数参加しているため、サービス内容を詳しく説明してほしい。

⇒説明を行った。

- ・他の利用者と希望時間がかぶってしまい予約できないことはあるか。

⇒そういった場合には、予約できる他の時間をシステムがいくつか提案する。

- ・利用者は予約した時点で到着時間が確定するのか。その後の予約状況によって乗合が増え、時間がずれる可能性はあるか。

⇒予約の時間である程度余裕をもたせた時間が利用者に通知される。その余裕の範囲内であれば新たな予約を受け付けることとなるが、その範囲を越えて時間が変わってしまう予約は受け付けない。よって、予約時から時間がずれることはない。

- ・3 台で運行しているとのことだが、キャパシティに余裕はあるか。

⇒利用者数から見ると余裕があるはずだが、あまり乗合が発生していないこともあり、さほど余裕はない。

→事業者は交通ルールを守って利用者を目的地に届けるのが大切である。キャパシティを越えて予約を詰め込んでしまうと、時間に追われてしまうため危険である。

事業者に安全な運行をしていただけるよう、気を付けてほしい。

- ・高齢者の足の確保は地域で重要な課題である。市では周知に力を入れていくとのことだが、広報紙を見ない高齢者もいるため、よりわかりやすいリーフレットがあればより利用者が増えるのではないか。

- ・利用者が増加したが乗合率が低下しているということは、車両の走行距離が伸びているのではないか。走行距離は確認しているか。

⇒運行事業者の車両のメーターにて把握している。

→今後走行距離の変化にも着目していただけると、課題が見つかるかもしれない。

### 【採決】

- ・異議なし。

■議事③さくら市地域公共交通計画の進捗状況

令和6年3月に策定した、さくら市地域公共交通計画で定めた指標の進捗を報告。

- ・氏家駅の乗車人数は現時点で未公開
- ・デマンド交通の収支率、デマンド交通1人当たりの公的資金投入額、公共交通に満足している市民の割合の3点が、現時点で達成できていない指標
- ・収支率と公的資金投入額は、物価高騰で数値が悪化
- ・満足している市民の割合は、AIシステム導入による満足度上昇を期待

【質疑】

- ・氏家駅の1日平均乗車数という項目があるが、これはJRの乗車人数のみか。
- ⇒そのとおり。

【採決】

- ・異議なし。

■その他

- ・今後10年間で団塊の世代が免許返納しはじめ、公共交通の需要が拡大するだろう。特に山間部でのサービスの充実に注力してほしい。